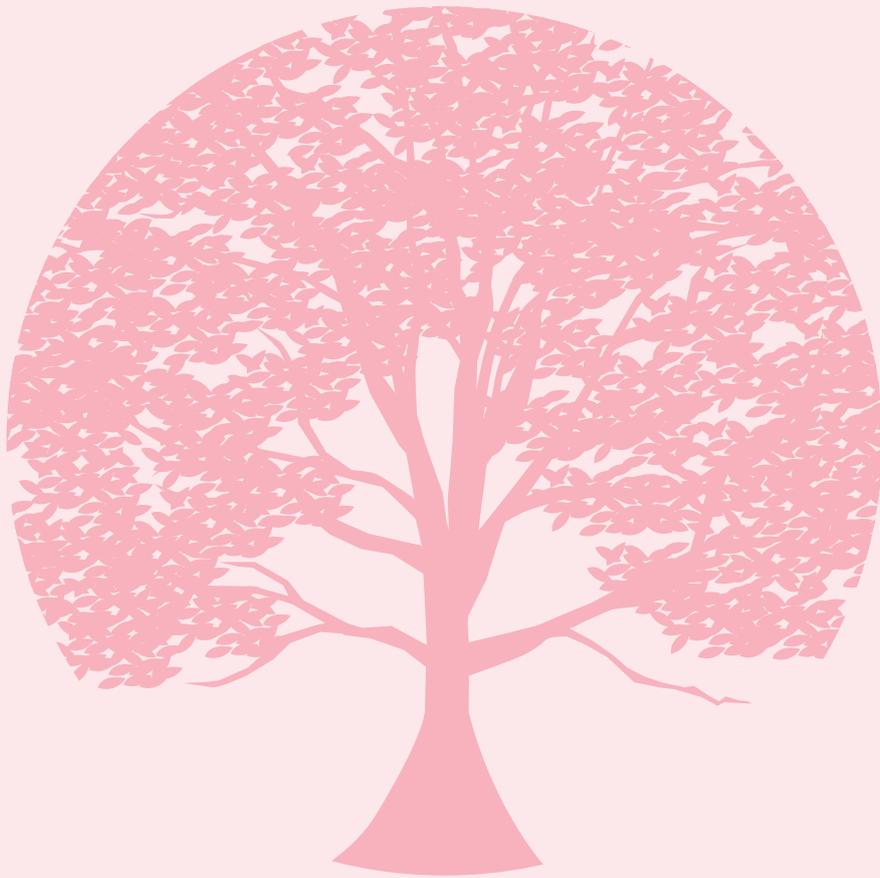


第15回 グリーン購入大賞

GREEN PURCHASING AWARD 2013



主 催 グリーン購入ネットワーク(GPN)

後 援 環境省、経済産業省、農林水産省、WWFジャパン、日本経済団体連合会、
読売新聞社、毎日新聞社、日経BP社、日刊工業新聞社





グリーン購入ネットワーク(GPN) 会長 **平尾 雅彦**(東京大学大学院 教授)
グリーン購入大賞審査委員長

昨年6月にブラジルのリオデジャネイロで開催された「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」では、「グリーン経済」への移行が持続可能な開発と貧困の撲滅のために国際社会全体で取り組むべきテーマの1つとして認識され、各国での取り組みが促されています。

このような状況の中、グリーン購入ネットワーク(GPN)は、1996年の設立以来、グリーン購入こそが循環型社会構築に資する最も有効な手段であるとの認識の下、その取り組みの普及・拡大に努めてまいりました。今こそ、購入者とその意味を理解し、更なる取り組みの深化を図る時だと考えます。

今年で15年目になるグリーン購入大賞は、積極的にグリーン購入に取り組み、多くの成果をあげられている団体を表彰し、広く社会に公表することでグリーン購入の普及と質的向上とを図ることを目的としています。今回から18万人を上回る来場が見込まれているエコプロダクツ展の会場において表彰式を開催し、その目的を達成したいと考えています。

第15回グリーン購入大賞 講評

今年度は農林水産大臣賞を新設し、広く募集した結果、40団体から「組織的なグリーン購入の推進」「環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の取り組み」「グリーンコンシューマーの育成・増加への取り組み」に加え、「環境に配慮した農林水産物の生産」や「食品等の生産情報(安全・安心を含む)の提供」に関わる応募が寄せられました。書類審査、プレゼンテーションによる本審査を経てここにご紹介する11団体が受賞されました。

今年は特に、地域資源の活用とその仕組みづくり・普及啓発等の自治体や市民による地域に根ざした取り組みや、顧客や一般消費者のグリーン購入を促進させる取り組み、新たな技術開発による環境配慮型製品やエネルギー創出の取り組みが多く見られました。また、金融分野からグリーン購入に資する継続的な取り組み、新たな取り組みも注目されました。

これら受賞団体の優れた活動や蓄積された経験を多くの人や組織と共有することで、グリーン購入の取り組みがさらにレベルアップしていくことを期待します。

大賞・環境大臣賞

環境大臣賞

協働プロジェクト部門



代表取締役社長
安中 正弘



代表取締役社長
橋本 徹

環境・復興支援シンジケートローン NECキャピタルソリューション株式会社、株式会社日本政策投資銀行

●エコ資金調達・運用における金融サプライチェーンのグリーン化普及・拡大 —金融行動原則の実践—

東北6県の地域金融機関とのリレーションシップを活用した「環境・復興支援シンジケートローン」を組成し、60億円のエコ資金調達を行い、そのエコ資金を東北6県の企業・自治体の震災被害からの復興と環境負荷低減に向けた設備投資資金として提供する新たなビジネスモデルを構築しました。具体的には、NEC東北支社や復興支援推進室と連携して、東北地域にNEC製のICT製品をはじめとする環境性能の高い機器を対象とした取引について特別優遇料率キャンペーンを展開するなど、グリーン機器の普及・拡大に取り組みました。「リース事業を活用した幅広い企業・自治体の環境・復興支援が目的のシンジケートローンの組成」は全国初の取り組みです。2012年3月に60億円、2013年3月に第二弾として130億円の調達を実施しました。DBJ以外の参加金融機関は東北の6機関から全国の16機関に増加しました。2012年度は東北6県の顧客に1,054件112億円の環境性能の高い機器や復興に役立つ製品を低料率のリースで提供することができ、地元の企業・自治体から好評を得ました。

評
価

「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」(2011年10月採択)では持続可能な社会形成のために志を同じくする金融機関の協働を目的として、多様なステークホルダーの連携が重視されている。本取り組みはこの理念を具現化し、金融サプライチェーンのグリーン化を強力に進めるとともに、グリーン機器の普及促進に貢献した点が高く評価された。環境性能の高い機器の導入(グリーン購入)の際、金融面のサポートは重要であり、本取り組みの実績も然ることながら、今後、対象となるグリーン機器・製品分野の拡大等、一層の展開が期待される。

《受賞にあたって》

「環境・復興シンジケートローン」は、多くの金融機関が、環境・社会に貢献することを目的に、業界の垣根を越えて協業した新しい形の社会貢献型事業です。NECキャピタルソリューションと日本政策投資銀行は、今後も金融サプライチェーンの連携を広げることによって、東北地域の更なる復興と環境配慮型機器の普及拡大に貢献して参ります。

大賞・経済産業大臣賞

経済産業大臣賞

中小企業部門



代表取締役社長
安成 信次

株式会社デコス

●デコスファイバー&デコスドライ工法におけるカーボンマーケティングを通じたグリーンコンシューマーの拡大

他の断熱材に比べて製造エネルギーが少なく*、高い断熱性能を長期にわたり発揮し、暖冷房費を低減する、新聞紙をリサイクルした木質繊維系断熱材（デコスファイバー）と乾式吹込み工法（デコスドライ工法）を全国にFC事業で普及展開しています。また、責任施工を担保するため、施工技術と断熱知識の研鑽に努める日本セルロースファイバー断熱施工協会を設立し、断熱施工技術者の各種認定試験や勉強会、保証制度等を運営しています。断熱材の出荷量は平成12年22t（約277棟）から平成24年2,059t（約2,574棟）と、約10年で10倍近くに増加しました。

さらに建築用断熱材として日本で初めてカーボンフットプリント（以下、CFP）認証を取得し、経済産業省試行事業にてカーボン・オフセットを行う等、環境配慮型省CO₂製品としてカーボンマーケティングを推進し、グリーンコンシューマーの拡大に努めています。

*断熱性能が同等のグラスウール24K同量との製造エネルギー比較 デコスファイバー：グラスウール=1：29.7（tCO₂・デコス試算）

評価

建築物は使用される期間が長期に亘ることから、施工時のみならず、各段階で様々な環境配慮が求められる。当事例は、素材や工法の取り組みのみならず、普及拡大の仕組み構築並びに顧客に環境と経済的メリットを提供できる取り組みとして評価された。また、建築用断熱材として日本初のCFPに認定、CFPを活用したカーボン・オフセットなど単に製品のプロモーションにとどまらず、広くグリーンコンシューマーの育成に寄与されていると高く評価された。

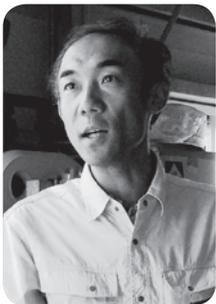
《受賞にあたって》

デコスドライ工法は、新聞紙をリサイクルした断熱材を断熱欠損の無い状態で責任施工する断熱工法です。とかく、新たな高性能建材が重視される傾向の中、ローテクや完全施工性が担保されてこそ所定の断熱性能を発揮するという当たり前のことがなかなか評価されない傾向にあります。そんな中、私たちの断熱性能担保に向けた様々な取り組みやカーボンマーケティングを高く評価して頂いたことは、この上ない喜びです。

大賞・農林水産大臣賞

農林水産大臣賞

中小企業部門



代表取締役
遠山 忠宏

株式会社開成

●バイオガス発電による低コスト・高付加価値農産物の製造・販売

廃棄物からエネルギー（電力・温熱）を取り出し、電力を売電、温熱を農業利用し、最終残渣を肥料として農地に利用する、農業運営を基軸とした循環型農業（社会）のシステム化に取り組んできました。具体的には「村上市地域新エネルギープラン」に沿って事業化可能性調査を実施し、弊社独自で「瀬波バイオマスエネルギープラント」の建設・運営に携わり、近隣で廃棄されている食品残渣や下水汚泥をバイオマス資源として当施設に受け入れ、通常燃焼処理されていた廃棄物をメタン発酵で処理することにより、化石燃料を使わず温室効果ガスの排出削減に効果のある資源循環型施設を運用しています。また、発電時の余熱を使用した温室でのパッションフルーツ栽培や発酵残渣はバイオマス肥料として水稲栽培等に活用することで農産物の生産コストを削減し、パッションフルーツや食用米は自社流通、さらに二次加工も独自で手掛けることで農業の六次産業化へ向けて一つの規範となりえることを目指しています。さらに、農家であってもプラントの導入が可能のように、低コスト・小規模・高効率のバイオマスシステムとしたことで、既に全国で数十社がこのモデルの採用を検討しています。

評価

「事業者として、省資源・省エネルギー・廃棄物の削減などの観点から、地域を巻き込んだ先進的なバイオマス発電の仕組みを構築・運用していること」と共に、「農家でも取り組めるバイオマス発電プラントとして普及・拡大が見込めること」が評価された。また、六次産業化モデル事業の実施や省資源・省エネルギー・廃棄物の削減対策に関する学習体験の場としても活用されることが期待され、グリーン購入を支える、環境負荷低減に取り組む事業者の増加に結び付く可能性が高いことが評価された。

《受賞にあたって》

私たちは現代の農業界を憂い、活力ある農業ビジネスを再興するために何をしたらいいかを真剣に考え、現実を精査し、結果的にバイオマス事業に参入しましたが、誰も成し得ていないビジネスモデルを構築するため、社員一人一人が何役もこなし、高い志を共有し維持し続けたことで実現できました。そんな社員の努力の積み重ねが今回の受賞につながったかと思います。しかしながらまだ道半ばです。我々の想いを多くの方々に知っていただき、日本農業の変革期に少しでもお役に立てたらと願います。

「グリーン購入大賞」について

■ 主 旨

グリーン購入ネットワーク(GPN)が、環境に配慮した製品やサービスを優先的に購入する「グリーン購入」に関する先進事例を表彰し広く紹介することで、グリーン購入の取り組みの質的向上とさらなる普及・拡大を図ることを目的として、1998年に創設された表彰制度で、今年度は第15回となります。

グリーン購入の普及拡大についての具体的な成果・実績と、これまで継続的な取り組みができてきているかどうか、発展性・独自性・先進性があるかどうかを特に重視し、一次・二次・本審査を経て決定されます。

■ 応募テーマ

(1) 組織的なグリーン購入の推進 (2) 環境配慮型製品・サービスの普及・拡大の取り組み (3) グリーンコンシューマーの育成・拡大への取り組み

■ 応募部門

大企業／中小企業／行政／民間団体・学校／協働プロジェクト

■ 賞の種類

- 【大 賞】 特に優れた取り組みを行う団体(部門1団体)
- 【優秀賞・審査員奨励賞】 グリーン購入に関連して優れた取り組みを行う団体
- 【環境大臣賞】 自らのグリーン購入活動、もしくは環境教育や環境コミュニケーション等を通じた一般消費者等へのグリーン購入の普及活動が、特に優れた1団体
- 【経済産業大臣賞】 環境配慮製品・サービスを通じて、グリーン購入の市場を拡大する活動が特に優れた1団体
- 【農林水産大臣賞】 国内農林水産業の発展に資するグリーン購入活動、もしくは一般消費者等へのグリーン購入の普及活動が特に優れた1団体

「グリーン購入大賞」審査委員

【委員長】

平尾 雅彦氏

(東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 教授、グリーン購入ネットワーク(GPN)会長)

【委員】

中原 秀樹氏 (東京都市大学大学院 教授、国際グリーン購入ネットワーク(IIGPN)会長)

山本 良一氏 (東京大学 名誉教授、国際グリーン購入ネットワーク(IIGPN)名誉会長)

北川 正恭氏 (早稲田大学大学院公共経営研究科 教授)

土屋 正春氏 (滋賀県立大学 名誉教授、滋賀グリーン購入ネットワーク(滋賀GPN)会長)

郡嶋 孝氏 (同志社大学 経済学部 教授)

林 良博氏 (国立科学博物館 館長、山階鳥類研究所 所長)

大熊 一寛氏 (環境省 総合環境政策局環境経済課長)

小見山康二氏 (経済産業省 産業技術環境局環境政策課 環境調和産業推進室長)

木内 岳志氏 (農林水産省 大臣官房 環境政策課長)

岩間 芳仁氏 (日本経済団体連合会 環境本部 本部長)

樋口 隆昌氏 (WWFジャパン 事務局長)

赤星たみこ氏 (漫画家)

伊藤 剛寛氏 (読売新聞社 生活部 次長)

吉川 学氏 (毎日新聞社 科学環境部 部長)

谷口 徹也氏 (日経BP社 日経エコロジー編集長)

「第15回グリーン購入大賞」記念パンフレットの製作にご協力頂いた企業・団体

〈企業〉

おいしさ、そして、いのちへ。
Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO



中越パルプ工業株式会社

DEVELOPMENT COORDINATION SYSTEM
株式会社 デコス

〈行政〉

くすまき
葛巻町(岩手県)

〈民間団体・学校〉

コープさっぽろ -CO2OP-

地球環境関西フォーラム

※各部門ごと五十音順に掲載しています。

本パンフレットは「第15回グリーン購入大賞」において優秀な取り組みとして各賞を受賞された上記団体のご協力を得て、グリーン購入のさらなる普及・促進を図ることを目的に作成しました。

グリーン購入ネットワーク(GPN)

グリーン購入ネットワーク(GPN)はグリーン購入の取り組みを促進するために1996年に設立された、企業・行政・消費者のネットワークです。全国の2,500を超える様々な団体が趣旨に賛同して会員となり、同じ購入者の立場で参加しています。

GPNでは、グリーン購入基本原則の制定や、製品・サービスごとの購入ガイドライン※の策定をしています。GPNが運用する「エコ商品ねっと」(<http://www.gpn.jp/econet/>)において1万5千点以上の商品の環境配慮情報をデータベース化して公開しています。

環境への負担が小さい商品の優先的購入を進める

グリーン購入ネットワーク(GPN)

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階
TEL.03-5642-2030 FAX.03-5642-2077
ホームページアドレス:<http://www.gpn.jp/>

GPN Green Purchasing Network
印刷サービス
印刷サービスのグリーン購入に取り組みます PS13-0034